

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

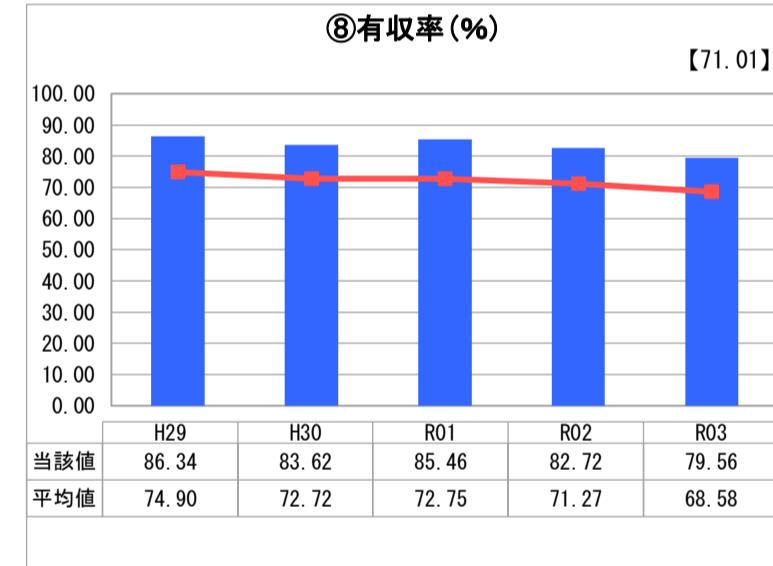
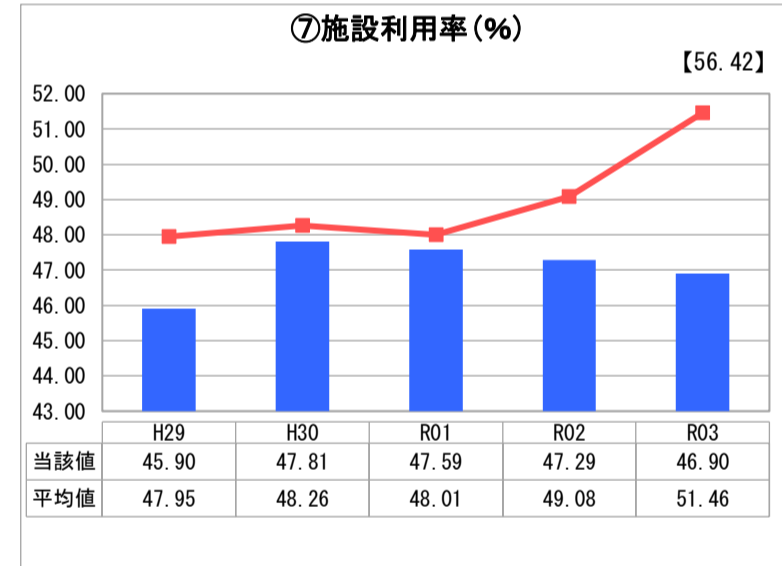
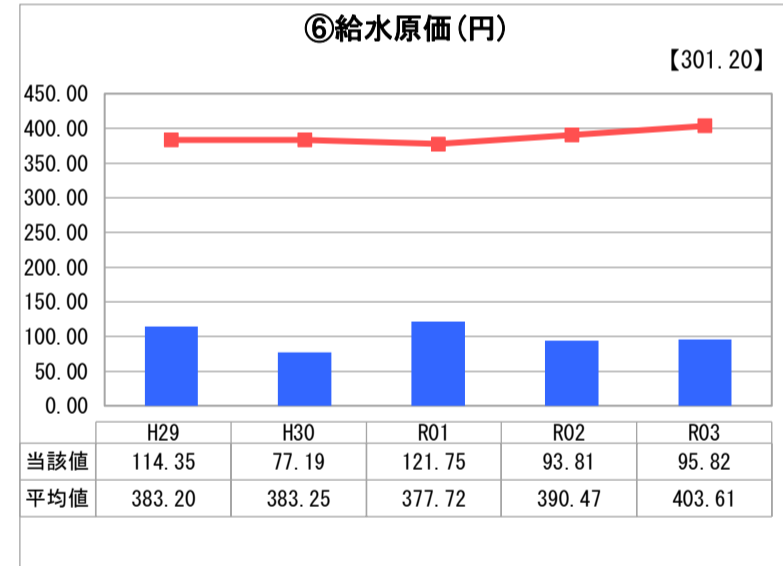
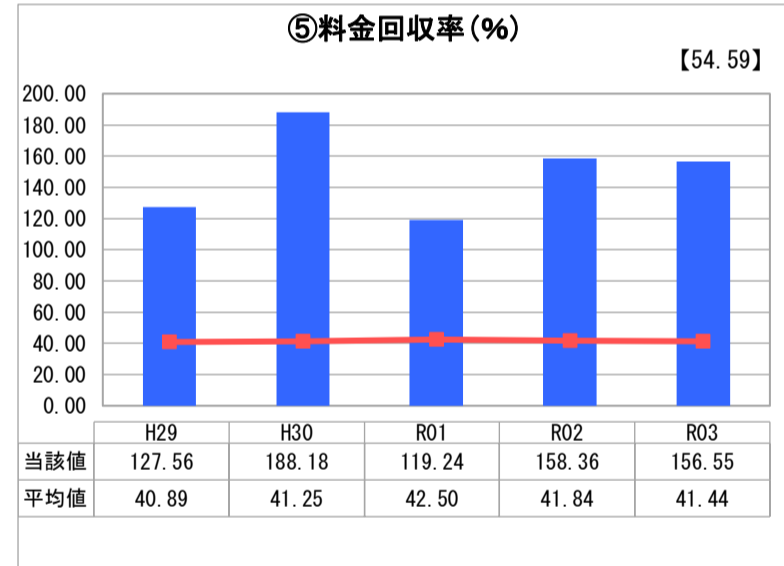
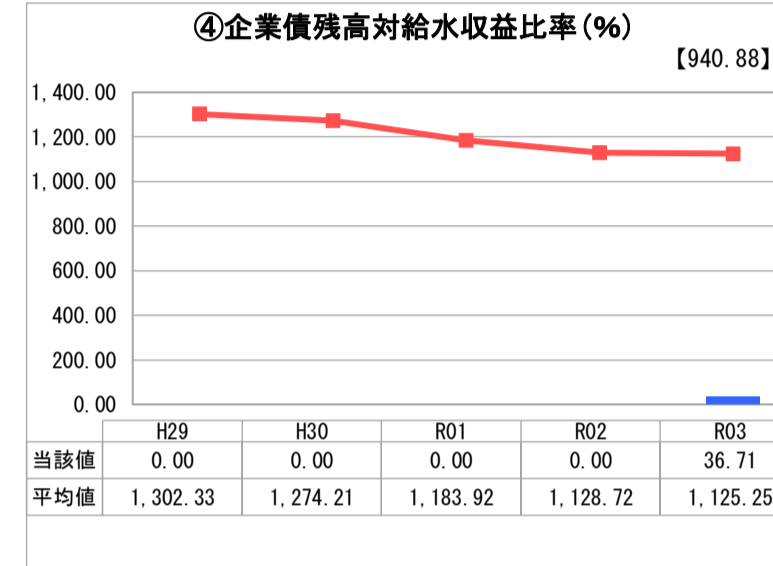
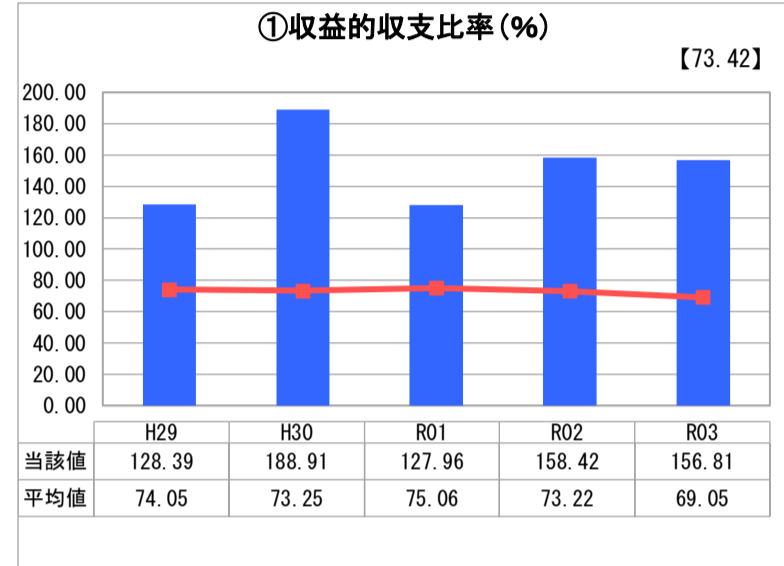
北海道 美深町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	6.57	4,780	

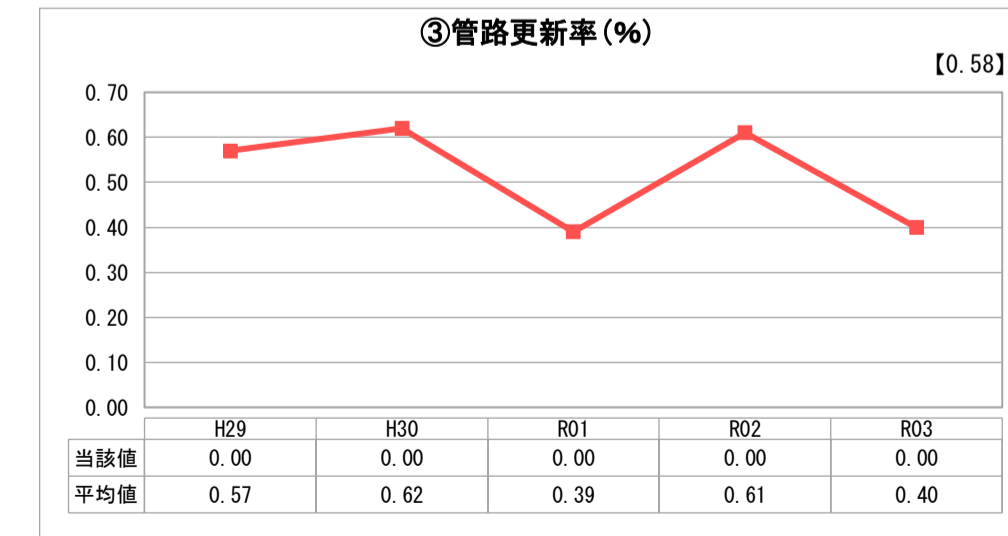
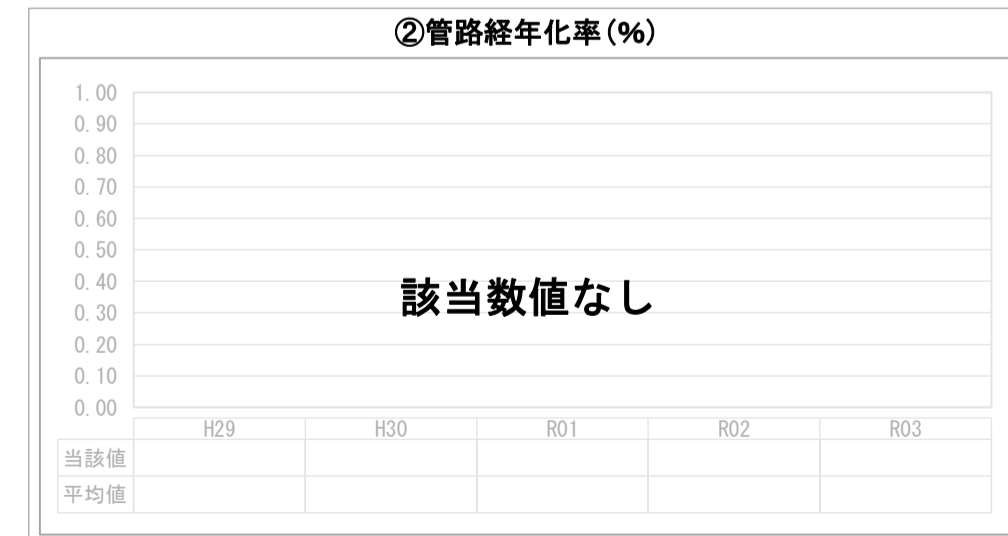
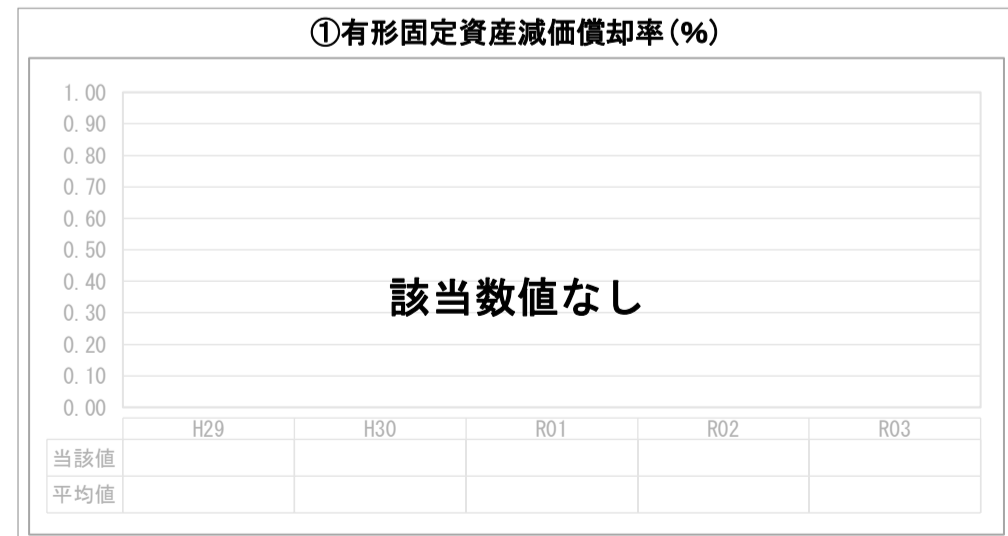
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,991	672.09	5.94
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
259	24.00	10.79

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率については、類似団体平均値以上であり、一般会計からの繰入金に依存していないことが伺えることから良い傾向である。

企業債残高対給水収益比率については、令和3年度に公会計適用に向けた固定資産台帳作成を行い、その財源として公営企業会計適用債の借入を行ったが、給水収益に対する比率は全国平均より低いことから、料金水準は適切と言える。

料金回収率については、100%を上回っていることから、料金の収益性が良いことを示している。

給水原価については、類似団体平均値以下であり浄水にかかる費用が少ないので良い傾向である。

施設利用率については、類似団体平均値以下であり、施設利用の効率が低く悪い傾向である。

有収率については、前年度より若干低下しており悪い傾向である。今後も定期的な漏水調査等の実施により有収率の維持に努めなければならない。

### 2. 老朽化の状況について

当該年度に更新した管路がないため管路更新率はゼロとなります。

## 全体総括

全体として経営状況はまずまずであるが、今後想定される施設等の改修にかかる財源について、一般会計からの繰入金なしでは実施できない状況である。

なお、当該簡易水道事業については、令和5年度中に法適用簡易水道である美深町中央簡易水道事業と統合する予定のため、固定資産台帳の整備など統合に向けた準備を進める。